



録画配信はこちら

日常業務運営の事務取扱ミス等にかかわる状況

Q ここ数年、事務取扱ミスが多い状況が見受けられるが実態は

A 事務取扱ミス以外にも公用車等の破損など僅かではあるが見受けられる

問 今までに報告されてきたものは、ほとんど事務取扱ミスによるものが多く占めているが、その他としてはどのようなものがあるのか問う。

答 (経営戦略課長) ここ最近、業務取扱ミス等が多い状況が見受けられ全員協議会での報告がなされている。それらの発生は特に2、3年前から増加の傾向を表しており、小さなものまで含めると1年間で十数件発生している年もあった。また、発生したことによりその行為に対して処分が科せられることがある。処分が出されたときは、そのことが個人の職歴に残り、消すことはできないものである。そのため上に立つ者はミス等の行為が発生しないよう、また適正な業務運営ができるよう職員とのコミュニケーションを図り、信頼関係を深め血の通った関係を構築し的確な指導を行わなければ改善はできないかと感ずることから質問する。



役場の朝礼での指示伝達状況

問 発生から情報提供並びに懲罰までの流れはどのようなになっているのか問う。

答 (経営戦略課長) ここ3年間の状況は、事務ミス以外の不始末としては、備品、公用車等の破損や不十分な物品管理事例などがある。

職員懲戒審査委員会の審査を経て決定しており、処分に至った場合は、その内容をミスの公表と同様の流れで公表している。

職員の処分については、町職員懲戒審査委員会の審査を経て決定しており、処分に至った場合は、その内容をミスの公表と同様の流れで公表している。

答 (経営戦略課長) ミスの発生時から報道への情報発信、懲戒処分に至るまでの流れについては、発生の一報後すぐさま原因とされる関係者からの聞き取りを行い、ミスが起った経緯や原因を究明し影響が及ぶ程度や範囲を調査しつつ、早期の対応策を検討して終息にむけての最善を尽くすとともに、類似するケースがある場合は再点検を行う。

問 再発防止対策としての内容を問う。

答 (経営戦略課長) 行政機構につく職員等にとって重要なことは、職員としての深い覚悟と確実な業務の遂行力だ。危険予知、すなわち注意せねばならない事柄に気付き思いをいたす力をつけねばならない。事務ミスが起る要因として、組織においては上席にある者のチェック体制が十分に機能しなかったことや、事務マニュアル化されていない部分があること、また職員間では情報共有が十分でなかったため防げなかったことなどがあげられる。



二館における指定管理

Q 指定管理の公募内容

A 街道交流館は非公募
三山館は地域を限定し指定管理



録画配信はこちら

一館の運営内容

問 指定管理が2年連続否決となった。二館における湖東三山館と中山道街道交流館の運営状況は。

答 (産業政策監) 湖東三山館は、毎週火曜日を休館日とし、直営により観光案内、レンタサイクル事業、ドッグランの運営を敷地内には自動販売機を設置し、駐車場、トイレは自由に利用できる。

問 湖東三山館直営による現状について、どのような状況であるのか。

答 (産業政策監) 中山道愛知川宿街道交流館は三つの施設を運営、一つ目として、情報発信施設は、町観光協会が一部を事務所に使用し観光案内を、二つ目は、飲食提供施設で、町観光協会に委託して66カフェを運営、三つ目に、体験交流滞在施設は貸し館業務と教室業務を行っている。



湖東三山館あいしょう

答 (産業政策監) 湖東三山館の4月から7月までの運営状況は、施設への入場者が約4,000名で、月平均約1,000名の来場があった。自動販売機やトイレについては実数をつかんでないが、多くの利用者がある状況である。レンタサイクル事業は2台の貸出しがあり、ドッグランには、週に2回から3回の利用がある。

問 街道交流館の66カフェの運営状況等は、今どうなっているのか。

答 (産業政策監) 66カフェとして、町観光協会による運営で地元の食材を使用したメニューを提供され、利用者から好評で、



中山道愛知川宿街道交流館

6月のオープンから7月末まで、約1,500人が来場。情報発信施設は主に観光案内をし、4月から7月末までの来場者は約1,300人であった。体験交流滞在施設の貸し館業務は、7月末までで35団体の利用があり教室事業は3教室を行い、7月末で延べ128人が受講されている。観光協会や講師の方には絶大なる協力をいただいております、お礼を申し上げます。

問 観光協会による委託という形でのなか、スタッフの人材減少は、今どのように感じているか。

答 (産業政策監) オープン後においても人が変わっている状況と聞いてい

問 事業者からの内容説明があるのか。今何ぐらいからあるのか。

答 (産業政策監) 正式に出していただけるかどうか定かではないが、現時点で約三社興味を示している。

問 湖東三山館あいしょうは、地域を限定した公募により指定管理の候補者を選定する。町に本拠を置くとしており、指定管理の期間は3年としている。万一応募がなかった場合や応募者の得点が基準点に満たない場合は、地域限定としない従来どおりの公募を行う予定である。

答 (産業政策監) 中山道愛知川宿街道交流館は、非公募により指定管理の候補者を選定した。